



## gpiオブザーバー ・ アナリティクス 最強のgpi取引分析ツール

注目のSWIFTのビジネス・インテリジェンス・ツールで外国送金を多面的に分析します。

### 抑えておきたいポイント

事実に基づいた情報で御行のgpiに対する正しい戦略構築と他行・市場比較を可能にします

送金ルート最適化とコルレス先に対するSLAのきめ細かな調整により、安価且つ迅速な送金が可能になります。

銀行間手数料の削減やより迅速な送金ルートの利用により顧客向け提供価値を高めます。

gpiの利用度分析によって新たな業務機会の発見に役立ちます。

### SWIFT とは

SWIFTgpi( global payments innovation)は外国送金の迅速化、手数料の透明性向上、最終受取までの追跡機能により顧客向け提供価値を劇的に改善します。既に日々数十万件の送金がこの新しいスタンダードで実施され、銀行と企業顧客に大きなメリットを提供しています。

gpiでは送金毎に与えられたユニークなレファレンスUnique End-to-End Transaction Reference UETRを利用することで、多面的な業務分析が可能になります。

gpiトラッカー、オブザーバー・インサイトおよびディレクトリーに加えて、gpiオブザーバー・アナリティクスはgpi活用のためのあらゆるステップで金融機関を支援します。

### SWIFTだけが提供できる新たな分析と発見

gpi取引に関する多面的かつきめ細かな分析は必ずしも実現が容易ではありません。このサービス提供でSWIFTはそのニーズに対し金融機関をサポートします。SWIFTのビジネス・インテリジェンスプロダクト (BI) はこれまで金融機関のニーズに応え、発展してまいりました。

BIによる他行・市場比較(ベンチマーキング)により、ユニークな分析結果を提供してきました。gpiが先進的な外国送金の方法として加わることでBIは更に進化します。

gpi利用銀行として競争力を強化することは従来にも増して重要な課題です。同時に送金オペレーションの最適化と事務処理の効率化も見逃してはならない課題となっています。SWIFT BIによって御行のgpiの実績をモニターし、最適な経路を把握するというインテリジェンスが手に入ります。事務処理の強化と着金までのスピードを含めた市場におけるポジションを把握することが出来るでしょう。

### gpi ・ オブザーバー ・ アナリティクス

既に利用可能となっている、gp・オブザーバー・インサイトに加えてgpi・オブザーバー・アナリティクスはより先進的な手法とデータ解析により新たな分析を提供することが可能です。

gpi・オブザーバー・アナリティクスでは御行gpiのフローをSWIFTのgpi全体と比較して、業務推進をサポートすることが可能です。

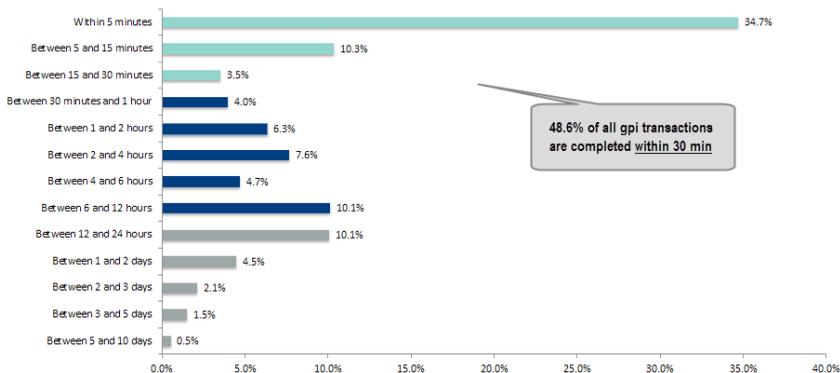
御行の実績に基づいたスピード、決裁ルート分析、ベンチマーキング、占有率と対コルレス先のより細かな分析を提供することが出来ます。

## Gpi・オブザーバー・アナリティクスがなくてはならない訳

より深く、細分化された分析によって以下の情報が入手可能になります。

- 直接および副次的コルレス先を含めて受取人銀行に到達するまでの最も効率的なルートを表示
- 新しい通貨、新しいコルレス先経由での送金を取り組むための情報
- 市場慣行に即した送金ルーティングの理解
- 国別、2国間ルート別、コルレス先別のgpi利用率の分析
- コルレス先がどのぐらい迅速に御行の送金指示を処理しているかという分析
- 受益者に到達するまでのスピード分析や特定ルートの所要期間分析
- コミュニティ比御行のgpi取引の所要時間の相対的分析
- コルレスビジネスにおける異常値の検知とネットワーク図

## gpi送金のスピード分析



The above speed bar chart provides an overview on how much time it took for transactions to be completed.

gpi・オブザーバー・アナリティクスには特別なソフトウェア、ハードウェアは不要で、通常のブラウザ経由で利用が可能です。御行グループ全体をカバーしたgpi取引の状態を観察でき、データは月次で更新されます。ログイン後ユーザーはウィザード機能を利用してデータ検索が可能です。ウィザードには事前に用意されたデータ群とフィルターが備わっており、必要なデータの抽出が容易に可能です。

gpi・オブザーバー・アナリティクスではユーザーは必要に応じて見方を変更できるビジネス用ダッシュボードを利用できます。

データは画面上的表示及び報告書として保存し社内LAN経由共有できるほか、gpi取引推進のための経営層に対する戦略的な提案や経営判断のための資料としても提供可能です。

## 発注とプライス

発注の仕方や価格については、SWIFTの営業担当にご連絡ください。

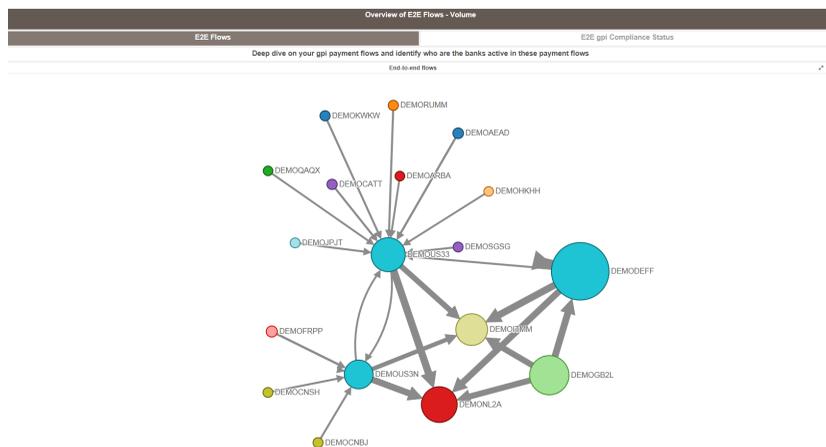
その他のBI製品についてお知りになりたい方は[www.swift.com/BI-for-gpi](http://www.swift.com/BI-for-gpi)をご覧ください。gpi.observer@swift.com宛メールをお送りください。

## SWIFTのビジネス・インテリジェンス製品について

SWIFTのBI製品は2005年より提供されています。一連の製品は幅広い業務ニーズに即した特徴を持ち、全ては直感的な操作で各種分析が可能のほか、コンサルティングサービスを加えたより深い分析や経済的指標となるサービスも準備されています。代表的な製品には取引件数・通貨別金額を市場・MT毎・地域毎に分析できるウォッチ・アナリティクスがあり、資金決済、外国為替取引、貿易取引、証券市場動向などが対象になっています。ウォッチ・インサイトは、業務ニーズに即したコルレス分野の分析データをビジュアルにダッシュボードとして提供します。

gpi・オブザーバー・インサイトによりgpiのルールブックに対してどの程度準拠しているかをモニターでき、より業務的な分析はgpi・オブザーバー・アナリティクスが対応します。BIサービスはgpi用にデータ分析を超えた価値を提供します。SWIFTの統計分析であるSWIFTエコノミクスには月次RMBトラッカー、RMBマーケット・インサイト・レポート、FXパフォーマンス・インサイトなどがあります。

## ネットワーク図



ネットワーク図には御行が実施したgpi取引に関わる全ての金融機関の概要が表示されています。